

原木を用いたアラゲキクラゲの栽培

【特徴】

- ・アラゲキクラゲの原木栽培について研究した。
- ・従来は、殺菌原木を用いていたが、チャック付ビニール袋を用いることにより、殺菌・灌水を省略した簡易栽培法を確立した。

【活用が見込まれる分野】

きのこの原木栽培
 実用化実績：有
 現状：一部地域で栽培中

【成果】

簡易ビニール袋栽培法の確立
 新規参入の促進(施設不要)

【技術内容】

アラゲキクラゲ簡易ビニール袋栽培方



伐採した原木に水を含ませ、種菌を接種する。



室内で管理 灌水なし。



きのこの発生
 (林内での発生)

原木栽培では、通常サンドイッチ方式(種菌を原木で挟む方法)が用いられる。
 この方法では、種菌接種後の水分管理が必要であるが、本方法では水分管理の必要がない。
 原木を入れる際、袋に穴を開けないように注意する。